

【佳作】

## 「北方領土について知って」

上富良野町立上富良野中学校  
2年 金谷 美咲

私が北方領土について知ったのは小学校の頃の授業でした。北方四島の島の名前や位置「北方領土は日本の領土なのにロシアに不法占拠されているんだよ。」と教えてもらいました。当時は「北方領土は日本のものなのに、ロシアって酷いな。ロシアに酷い目にあわされた元島民の人はかわいそうだな。」とっていました。それでもチャレンジテストなどで問題が出ると答えられないほどでした。

そんな私でしたが、中学生になってもう一度北方領土について学び、考えが変わっていきました。授業の中で北方領土について勉強し、その中でも日本とロシアの両国の言い方を知ったり、元島民の方から貴重なお話を聞かせていただいたりなど考えを改めるには十分すぎるほどのきっかけがありました。

今でも、前ほどではありませんが、北方領土は日本のものなのだから返してほしい、という気持ちは確かにあります。自分がかつて過ごした思い出のある故郷に帰れない人も多くいて、それはさみしいことだと思うからです。しかし、今日本が北方領土を取り返し、ロシア人をそこから追い出せば、日本が正しいことをしていたとしても、そこで暮らしていたロシア人からすれば、それは私たちが昔ロシアにされたことをすることになってしまいます。一九四五年に北方領土をロシアに不法占拠されて七十三年です。七十三年、そこで暮らしたロシア人もいるはずですが。北方領土はもはや日本だけの故郷ではないのです。日本人の元島民の方は知っているはずですが。自分の故郷を追われる悲しみを。それならば、ロシア人には、そんな思いはさせるべきではないと思います。かつて、日本人とロシア人の子供が言葉の壁を越え結んだ絆を、今度は国同士で結んだら良いのではないのでしょうか。北方領土を日本の領土かロシアの領土か決めるのではなく、分け合えばいいのではないのでしょうか。たしかに、国境やパスポート、排他的経済水域、鉱山資源、法律など、両国の混住の地にすればたくさん問題があると思います。そのためには、北方領土の元島民の方やその二世の方が声を上げるだけでは足りないのではないのでしょうか。北方領土に限らず、竹島や尖閣諸島もそうですが、遠いから、元島民やその二世ではないから、と目をそむけていては駄目なのではないのでしょうか。私たち国民が一人ひとりその問題を意識して、知っていくことが大切なのではないのでしょうか。

私は今回の授業でたくさんのことを学びました。元島民の方のお話を聞いたりして授業を受けただけではわからないことを知ったり、自分の考えを改めるきっかけになったりしました。私は今回のことを学んで、この話を次の世代に伝える「語り部」になりたいと思いました。